

優秀賞

交通事故を防ぐためにすべきこと

大刀洗中学校 3年 平田 悠希央

ある日の外出中の車の中で僕は父に運転をするうえでの大事な心得を教えてくださいました。それは「かもしれない運転をすること」でした。

僕は「かもしれない運転」という言葉が気になったので、調べることにしました。調べて出てきた答えは、捉えた対象や状況から起こりうる危険な事態を、あらかじめ予測しておくことで事故を未然に防ぐこと、だそうです。

僕はニュースで交通事故の様子や原因、結果を何度も見たことがあります。そこで僕は最も多い交通事故の原因は何か調べました。出てきた答えは「安全不確認」だそうです。

そこで、「安全不確認」とはどのような運転のことか調べました。すると、可能な確認を尽くさなかったために、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させることだそうです。

この「安全不確認」という原因について父に聞いてみると、その言葉と類似して、「だろ
う運転」という運転があるそうです。これは、「こちらが優先なのだから車は交差点に進入してこないだろう」、「車通りが多い道路だから歩行者は飛び出さないだろう」などといった、希望的観測にもとづく運転のことだそうです。だろ
う運転も安全不確認と似ていて少しの気のゆるみで起きていることに気づきました。

交通事故という言葉はニュースで聞く時の重みと実際に現場で聞く時の重みは全く違い、また、交通事故は一度で人の命を奪ってしまいます。僕はこのたった一回を防ぐために、父から教わった、「かもしれない運転」を毎日の登下校で心掛けていきます。そして、「だろ
う運転」や「安全不確認」などの原因で命を落としてしまう人を減らすためにも周りの人に「かもしれない運転」について教えます。